

令和5年2月20日（月）  
15:00～16:30

## 第3回学校運営協議会議事録

### 1. 出席者

大阪学院大学	寺脇 久人
学校歯科医	戸堂 耕造
PTA会長	伊豆田 美紀
元高石市第1区自治会長	中谷 正彦
高石高校校長	綾井 俊行
高石高校教頭	長子 等
教務部	藤本 将
進路指導部	澤 真規
保健総務部	林 祥子
図書生徒会部	北岡 直樹
首席	櫻井 裕子
書記	内山 智恵子

### 2. 審議事項 令和4年度学校評価、令和5年度学校経営計画について

(1) 令和4年度学校評価、(2) 令和5年度学校経営計画とも、委員全員に承認を頂いた。

#### 【質疑内容】

(1) 令和4年度学校評価について

教頭 : 審議事項(1)、(2)ともに、1月末時点での数字となる。

委員1 : 学校自己診断について回答者の数や割合等について知りたい。

教頭 : 生徒721名(約3/4) 保護者は687名(約1/3)、教員は31名(約3/5)が回答している。

(2) 令和5年度学校経営計画について

委員 : スクールミッションとの関係性は。独立したものなのか。

校長 : 学校として向こう10年間に耐えうるものとして作られている。学校経営計画や学校評価は大阪府として学校で取り組むべきことだと決められたもの、スクールミッションは新たに学校として力を入れる事柄について各学校が定め教育委員会が承認する流れとなっている。

### 3. 報告事項 各部会・委員会、後期授業アンケート結果、学校教育自己診断結果について

「教務部」、「進路指導部」、「生徒指導部」、「保健総務部」、「図書生徒会部」、「広報委員会」、「国際交流委員会」、「後期授業アンケート結果」、「学校教育自己診断結果」等について報告を行った。

#### 4. 協議

- 委員長：できる範囲で新型コロナウイルス感染症からの立ち直りのサポートしていただいていると感じる。交流事業、学校行事、生徒会活動等非常に活発にしている。学校教育自己診断結果の生徒と保護者の乖離、教職員と保護者または生徒の乖離等の結果について分析はどうなっているのか。
- 校長：学習指導要領の関係により、2・3年と1年生、学年によって教え方・評価方法が違い学校の中で別れている状況。また、以前は45分×7コマで授業をしていたが、今年度から50分×6コマと週に2回7時間目の授業を入れる形で実施しており、移行の時期にあたる。生徒・先生ともにリズムが変わり、負担が大きかったのではないかと。そのうえで、新型コロナウイルス感染症の制約と緩和のなか、改めて行事・事業を再開しており、個々の先生方に負担が大きく余裕のない状況が続いたためではないかと思う。付け加えて触れておくと、教職員間の世代によるコミュニケーションの不足もあるのかもしれない。課題を抱えながらも、生徒が楽しめたところは良かったと思う。
- 委員長：子供たちが楽しめて良かったと思う。アンケート結果を踏まえ翌年に活かしてほしい。
- 委員1：高石高校は部活動が盛んなので、以前のように戻るとよいと思う反面、今後長期的な視野で見た時、先生方に今のまま顧問をお願いしてよいのか心配している。高石高校において、部活動が社会的なかわりとして重要な役割を担っており、バリエーションがあることは良いことだが、負担を先生方に当然のように押し付けるのもいけないと思う。
- 委員2：生徒指導について、遅刻者の数を見ると昔よりずっと減っている。地域の評判も良いし、悪い噂も聞かない。
- 委員3：今年は保護者にも学校が開かれていた。子どもの学校での様子を実際に見ることができて感動した。
- 教頭：新型コロナウイルス感染症による制約の緩和で、行事等の様子は見てもらえるが、普段の様子については見てもらえる機会があまりない。次年度の課題にしたい。
- 委員1：部活動も1つだけに所属するのではなく、複数所属できるようにしても良いのではないかと。
- 委員4：コミュニティーセンターの利用についてどうなっているのか。
- 校長：現在、新型コロナウイルス感染症の関係で利用を控えている。次年度に向けて話を進めていきたい。
- 教頭：次年度以降、地域連携に力をいれており委員会を立ち上げている。
- 校長：早い段階で打診していきたいと思う。
- 委員長：非常に頑張っていただいていると思っている。この調子で願います。